

日本ミシェル・アンリ哲学会

第十一回研究大会 プログラム

日本ミシェル・アンリ哲学会の第十一回研究大会は、日本ショーペンハウアー協会との共催となります。アンリの主著の一つ『精神分析の系譜』（1985年）は、第1章のデカルト論については比較的取り上げられることも多いですが、著作全体としては研究が進んでいるとは言えません。そこでシンポジウムとして『精神分析の系譜』の再読・再考を企画しました。今回はその第一弾で、アンリがこの著作で4つの章を費やして論じているショーペンハウアーとニーチェ的を絞り、アンリによるこの両者の読解から何が生まれたのかを、日本ショーペンハウアー協会から梅田孝太氏と太田匡洋氏、本会からは伊原木大祐氏に御登壇いただき、会場を交えて考えようと思います。

またシンポジウムに先立ち合評会が行なわれます。川瀬雅也氏の近著『生の現象学とは何か——ミシェル・アンリと木村敏のクロスオーバー』（法政大学出版局、2019年2月）を取り上げ、本郷均氏と佐藤愛氏に様々な角度からこの著作を検討していただき、著者である川瀬雅也氏の応答も交えて議論を行ないます。

日本ミシェル・アンリ哲学会の研究大会は会員以外の方にも開かれています（参加無料）。ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

期日：2019年6月8日（土）

会場：学習院大学中央教育棟12階 国際会議場

【総会】

12：30～13：00

【合評会】

13:15～15:00

川瀬雅也『生の現象学とは何か——ミシェル・アンリと木村敏のクロスオーバー』（法政大学出版局、2019年2月）

評者

本郷均（東京電機大学）

佐藤愛（立命館大学）

著者

川瀬雅也（神戸女学院大学・島根大学）

【シンポジウム】

15：20～18：00

テーマ：『精神分析の系譜』再読（1）——ショーペンハウアーとニーチェをめぐる

パネラー

伊原木大祐（北九州市立大学）

「苦しみから共苦へ——生の現象学と意志の哲学」

梅田孝太（上智大学）

「矛盾の美学——ニーチェとアンリ」

太田匡洋（京都大学）

「類比と名づけ——アンリに対するショーペンハウアーからの応答」

司会 杉山直樹（学習院大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学教育学部 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0852-32-6284 E-mail : kawase@edu.shimane-u.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>